

令和6年度（2024年度）

事業報告書

令和8年（2026年）3月

熊本県水産研究センター

（熊本県上天草市大矢野町中 2450-2）

目次

事業の要旨	1
総務一般	
機構および職種別人員	7
職員の職・氏名	7
職員の転出	8
企画情報室	
水産業広報・研修事業	9
水産研究センター研究評価会議および水産研究推進委員会の開催	12
漁業者専門研修事業（漁業者セミナー）	15
水産業改良普及事業	17
資源研究部	
資源評価調査Ⅰ（水産資源調査・評価）	19
資源評価調査Ⅱ（沖合海洋観測および卵稚仔調査）	23
資源評価調査Ⅲ（ガザミ有明海資源評価）	26
沿岸資源動向調査（浮遊期仔稚魚類の出現状況調査）	30
内水面モニタリング調査事業Ⅰ（アユ資源動向調査）	34
内水面モニタリング調査事業Ⅱ（ウナギ資源動向調査）	43
外部資金活用事業（国際水産資源変動メカニズム等解析事業）	45
水産研究イノベーション加速化事業Ⅰ（八代海タチウオ等生態解明共同研究）	48
スマート沿岸漁業推進事業（ICTを利用した漁業技術開発事業のうちスマート沿岸漁業推進事業）	60
有明海・八代海再生事業Ⅰ（クルマエビの放流効果調査）	64
有明海・八代海再生事業Ⅱ（ガザミの放流効果調査）	69
さかなを守り育む豊かな海づくり事業Ⅰ（マダイ、ヒラメ、ガザミの資源管理の取組み）	74
さかなを守り育む豊かな海づくり事業Ⅱ（いわし機船船曳網漁業の操業状況調査）	75
さかなを守り育む豊かな海づくり事業Ⅲ（栽培漁業の推進と放流効果の把握）	78
さかなを守り育む豊かな海づくり事業Ⅳ（トラフグの放流効果把握）	83
養殖研究部	
養殖生産安定技術開発事業Ⅰ（クルマエビ類の急性ウイルス血症診断）	85
養殖生産安定技術開発事業Ⅱ（県産マガキ（シングルシード）の養殖技術開発）	87
ブリ人工種苗量産技術開発試験	90
ブリ親魚養成・採卵技術開発試験	96
新たな稼げる養殖業推進事業（カキ類種苗生産技術開発）	99
安全安心な養殖魚づくり事業	102
浅海干潟研究部	
有明海・八代海赤潮等被害防止対策事業Ⅰ（八代海漁場環境調査）および赤潮対策事業（赤潮定期調査）	107
有明海・八代海赤潮等被害防止対策事業Ⅱ（夏季赤潮調査）	113
有明海・八代海赤潮等被害防止対策事業Ⅲ（冬季赤潮調査）	120

有明海・八代海赤潮等被害防止対策事業Ⅳ(水産養殖漁場赤潮等広域監視システム技術開発事業)	124
漁場環境モニタリング事業Ⅰ(内湾調査)および資源評価調査Ⅳ(浅海定線調査)	128
漁場環境モニタリング事業Ⅱ(自動海況観測ブイによる観測)	134
漁場環境モニタリング事業Ⅲ(有明海および八代海における貧酸素水塊の一斉観測)	140
環境変化に適応したノリ養殖技術の開発事業Ⅰ(野外培養試験による育種素材の高水温耐性調査)	142
環境変化に適応したノリ養殖技術の開発事業Ⅱ(ノリ養殖の概況)	147
環境変化に適応したノリ養殖技術の開発事業Ⅲ(ノリ養殖漁場海況観測調査)	153
環境変化に適応したノリ養殖技術の開発事業Ⅳ(高水温耐性株の養殖試験)	160
重要二枚貝資源モニタリング事業Ⅰ(アサリ生息状況調査)	164
重要二枚貝資源モニタリング事業Ⅱ(アサリ浮遊幼生調査)	
および有明海・八代海再生事業Ⅲ(有明海特産魚介類生息環境調査:二枚貝浮遊幼生ネットワーク調査)	169
重要二枚貝資源モニタリング事業Ⅲ(ハマグリ生息量調査)	173
重要二枚貝資源モニタリング事業Ⅳ(球磨川河口域におけるハマグリ浮遊幼生および着底後の生息状況調査)	178
有害プランクトン抑制技術開発事業	180
有明海・八代海再生事業Ⅳ(有明海特産魚介類生息環境調査:アサリ資源重点保護対策)	185
有明海・八代海再生事業Ⅴ(有明海特産魚介類生息環境調査:ハマグリ資源重点保護対策)	190
有明海・八代海再生事業Ⅵ(有明海漁業振興技術開発事業:タイラギ人工種苗中間育成試験)	
および有明海特産魚介類生息環境調査:タイラギ母貝団地造成試験)	194
有明海・八代海再生事業Ⅶ(有明海漁業振興技術開発事業:波浪によるアサリ散逸防止技術開発)	203
県産アサリ資源回復事業(特別回復区域におけるアサリ増殖技術開発)	214
食品科学研究部	
水産物安全確保対策事業(エライザ法による麻痺性貝毒定期モニタリング調査)	221
水産物付加価値向上事業Ⅰ(オープンラボを活用した加工指導)	224
水産物付加価値向上事業Ⅱ(県産魚介類の旬調査)	225
海藻類総合対策事業Ⅰ(ヒトエグサ養殖技術安定化試験)	227
海藻類総合対策事業Ⅱ(ワカメ養殖技術指導)	230
海藻類総合対策事業Ⅲ(トサカノリ保存試験)	232
海藻類総合対策事業Ⅳ(天草西海藻場モニタリング調査)	234
海藻類総合対策事業Ⅴ(軍ヶ浦地先藻場造成効果調査)	236
水産研究イノベーション加速化事業Ⅱ(水産物差別化試験 ワカメ優良系統選抜試験)	240
令和6年度の主な研究成果	243

事業の要旨

事業名	頁	予算名	要 旨
企画情報室			
水産業広報・研修事業	9	水産業広報・研修事業費	広報事業として、水産研究・普及合同報告会、研修センターの運営、県ホームページで事業報告書等の情報提供を実施。また、研修事業では、研究職員等の資質向上のための研修参加、学生等を対象とした教育研修や県民等への一般研修の受け入れを実施した。
水産研究センター研究評価会議および水産研究推進委員会の開催	12	水産業広報・研修事業費	水産研究センター研究評価会議および水産研究推進委員会を開催し、研究の効果的かつ効率的な推進のため、研究計画と研究成果に対する評価を行った。
漁業者専門研修事業（漁業者セミナー）	15	令達	漁業者に対して、「初心者コース」「漁業士養成コース」、「浜の勉強会」の各種漁業者セミナーを開催した。
水産業改良普及事業	17	令達	水産業革新支援専門員として、漁業者への技術普及を促進するため、普及事業関係会議等の企画や水産業普及指導員との連携強化を図った。また、普及指導員の普及活動状況を紹介する「水産普及活動情報」を配信し、情報の共有化を図った。
資源研究部			
資源評価調査Ⅰ（水産資源調査・評価）	19	試験調査事業	我が国周辺水域の漁業資源評価のため、水産庁からの委託により、漁獲量調査および精密測定調査を実施した。
資源評価調査Ⅱ（沖合海洋観測および卵稚仔調査）	23	試験調査事業	我が国周辺水域の漁業資源評価のため、水産庁からの委託により、沖合海洋観測および卵稚仔調査を実施した。
資源評価調査Ⅲ（ガザミ有明海資源評価）	26	試験調査事業	我が国周辺水域の漁業資源評価のため、水産庁からの委託により、本県における対象魚種である有明海のガザミについて、漁業の実態、生物学的特性および資源状態に関する調査を実施した。
沿岸資源動向調査（浮遊期仔稚魚類の出現状況調査）	30	試験調査事業	本県沿岸域における有用魚介類の資源状態を把握するため、有明海・八代海・天草海における仔稚魚類の出現状況調査を実施した。
内水面モニタリング調査事業Ⅰ（アユ資源動向調査）	34	試験調査事業	球磨川におけるアユの資源動向を把握するため、稚アユの遡上および仔アユの流下に関する調査を実施した。
内水面モニタリング調査事業Ⅱ（ウナギ資源動向調査）	43	試験調査事業	二ホンウナギの資源管理方策立案につながる知見を得るため、主要漁場において漁獲情報を収集して資源動向を把握した。
外部資金活用事業（国際水産資源変動メカニズム等解析事業）	45	外部資金活用事業	二ホンウナギの産卵回遊経路を解明するため、産卵場に向かう直前の銀ウナギ採捕、衛星タグ装着および追跡調査を試みた。

事業名	頁	予算名	要旨
水産研究イノベーション加速化事業Ⅰ（八代海タチウオ等生態解明共同研究）	48	水産研究イノベーション加速化事業	八代海におけるタチウオおよびカタクチイワシ資源の持続的活用手法を提示するため、大学等と連携して本県周辺海域の移動状況を把握した。また、タチウオ漁獲特性および年齢別漁獲尾数を利用した資源量推定を行った。
スマート沿岸漁業推進事業（ICTを利用した漁業技術開発事業のうちスマート沿岸漁業推進事業）	60	スマート沿岸漁業推進事業	九州大学等との共同研究により開発した漁場形成予測モデルについて、漁業者への普及を促進するため、漁場環境と漁獲状況の関係性を検討した。
有明海・八代海再生事業Ⅰ（クルマエビの放流効果調査）	64	令達	有明海のカクルマエビ資源回復のため、サイズの異なる種苗や簡易馴致による放流効果の差を、DNAを用いた親子判別により算定・比較した。
有明海・八代海再生事業Ⅱ（ガザミの放流効果調査）	69	令達	有明海のカザミ資源回復のため、有明海沿海4県が連携し、サイズの異なる種苗や放流場所による放流効果の差を、DNAを用いた親子判別により算定・比較した。
さかなを守り育む豊かな海づくり事業Ⅰ（マダイ、ヒラメ、ガザミの資源管理の取組み）	74	令達	マダイ、ヒラメ、ガザミの資源管理型漁業を推進するため、市場に集荷された漁獲物を調査し、資源管理（体長制限等）の取組状況を確認した。
さかなを守り育む豊かな海づくり事業Ⅱ（いわし機船船曳網漁業の操業状況調査）	75	令達	カタクチイワシの資源管理に関する基礎資料を得るため、八代海におけるいわし機船船曳網漁業の操業状況を調査した。
さかなを守り育む豊かな海づくり事業Ⅲ（栽培漁業の推進と放流効果の把握）	78	令達	熊本県栽培漁業地域展開協議会が主体となって実施するマダイ、ヒラメ、イサキの種苗放流効果を把握するため、市場に集荷された漁獲物を調査し、放流種苗の混入状況を把握した。
さかなを守り育む豊かな海づくり事業Ⅳ（トラフグの放流効果把握）	83	令達	天草漁業協同組合がトラフグの種苗放流を実施するにあたり、種苗育成中の飼育方法、ALC染色、放流場所の選定、放流作業等について指導するとともに、放流効果調査（標識魚の再捕調査）等を行った。

養殖研究部

養殖生産安定技術開発事業Ⅰ（クルマエビ類の急性ウイルス血症診断）	85	試験調査事業	クルマエビの急性ウイルス血症（PAV）原因ウイルスの感染検査体制を維持し、速やかに診断及び検出時の処置を指示することで被害を最小限に留めることを目的として検査を実施した。
養殖生産安定技術開発事業Ⅱ（県産マガキ（シングルシード）の養殖技術開発）	87	試験調査事業	熊本県海域に生息するマガキを親貝に用いたシングル・シード養殖技術の開発に取り組んだ。

事業名	頁	予算名	要旨
ブリ人工種苗量産技術開発試験	90	ブリ人工種苗量産技術開発試験	天然種苗に依存しているブリ養殖業の現状に対し、人工種苗によるブリ完全養殖実現のため、ブリ人工種苗の量産技術開発に取り組んだ。
ブリ親魚養成・採卵技術開発試験	96	ブリ親魚養成・採卵技術開発試験	ブリ完全養殖実現のためには、自県用の受精卵を安定的に確保する必要があることから、ブリ親魚養成技術および採卵技術の開発に取り組んだ。
新たな稼げる養殖業推進事業（カキ類種苗生産技術開発）	99	令達	クマモト・オイスターの種苗生産を安定化させるため、これまで当センターにおいて開発された種苗生産技術を用い、量産レベルでの生産が可能であるか検証を行った。
安全安心な養殖魚づくり事業	102	令達	安全な養殖水産物の生産を推進し、消費者の安心を確保するため、養殖魚の疾病予防等に使用される水産用ワクチンや水産用医薬品の適正使用を指導するとともに、養殖魚等の魚病診断を実施した。

浅海干潟研究部

有明海・八代海赤潮等被害防止対策事業Ⅰ（八代海漁場環境調査）および赤潮対策事業（赤潮定期調査）	107	試験調査事業	八代海における環境特性と有害プランクトンの発生動向や生態を明らかにするため、水質と有害プランクトン等組成の周年モニタリングを行った。
有明海・八代海赤潮等被害防止対策事業Ⅱ（夏季赤潮調査）	113	試験調査事業	有明海における赤潮発生や貧酸素水塊等による漁業被害の軽減に資するため、同海域の水質やプランクトンの発生量等の環境調査を実施した。
有明海・八代海等赤潮被害防止対策事業Ⅲ（冬季赤潮調査）	120	試験調査事業	有明海において、ノリ養殖に色落ちの被害をもたらすプランクトンの動向を調査するため、10月～2月に水質やプランクトンの発生を調査した。
有明海・八代海等赤潮被害防止対策事業Ⅳ（水産養殖漁場赤潮等広域監視システム技術開発事業）	124	試験調査事業	養殖漁場における赤潮の発生状況を早期に把握して、被害軽減に向けた迅速な対応を行うため、有害プランクトンセンサーや赤潮カメラを組み込んだ新たな観測システムの開発に取り組んだ。
漁場環境モニタリング事業Ⅰ（内湾調査）および資源評価調査Ⅳ（浅海定線調査）	128	試験調査事業	有明海および八代海における水質調査（水温、塩分、透明度、DO、COD、DIN、DIP等）を、月に1回の頻度で周年にわたり実施した。
漁場環境モニタリング事業Ⅱ（自動海況観測ブイによる観測）	134	試験調査事業	ノリ養殖業、魚類養殖業、漁船漁業、採貝漁業等の生産性向上と経営安定化に資するため、自動海況観測ブイを用いた県内漁場における海況観測を行い、漁場環境の変動を把握した。
漁場環境モニタリング事業Ⅲ（有明海および八代海における貧酸素水塊の一斉観測）	140	試験調査事業	有明海および八代海における貧酸素水塊の発生状況を把握するため、7月及び8月に沿海4県と国立研究開発法人水産研究・教育機構等が連携して、海洋環境モニタリング観測を行った。

事業名	頁	予算名	要旨
環境変化に適応したノリ養殖技術の開発事業Ⅰ (野外培養試験による育種素材の高水温耐性調査)	142	試験調査事業	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所が天草市倉岳町で採取し高水温選抜したアサクサノリについて、養殖漁場と類似し安定的な環境の野外水槽で培養試験を実施した。
環境変化に適応したノリ養殖技術の開発事業Ⅱ (ノリ養殖の概況)	147	試験調査事業	今後のノリ養殖の安定化に向け、問題点を明らかにし、技術開発の基礎資料とするため、今漁期のノリ養殖業の生産状況、海況の経過を整理した。
環境変化に適応したノリ養殖技術の開発事業Ⅲ (ノリ養殖漁場海況観測調査)	153	試験調査事業	ノリ養殖漁場の海況および栄養塩、植物プランクトンの定点観測を行い、得られた結果を県ホームページ、FAX等を通じて、生産者や関係機関に情報提供した。
環境変化に適応したノリ養殖技術の開発事業Ⅳ (高水温耐性株の養殖試験)	160	試験調査事業	ノリ養殖の安定生産に資することを目的として、現在の漁場環境に適応し、高水温耐性、生長や色調等が優れたノリの品種を作出するため、高水温耐性株の漁場における養殖試験を行った。
重要二枚貝資源モニタリング事業Ⅰ(アサリ生息状況調査)	164	試験調査事業	本県のアサリ主要漁場である緑川および菊池川河口域におけるアサリ資源動向を把握することを目的として、アサリ生息状況調査を実施した。
重要二枚貝資源モニタリング事業Ⅱ(アサリ浮遊幼生調査)および有明海・八代海再生事業Ⅲ (有明海特産魚介類生息環境調査：二枚貝浮遊幼生ネットワーク調査)	169	試験調査事業	アサリの産卵状況を把握するため、本県の有明海・八代海沿岸主要漁場におけるアサリ浮遊幼生調査を実施した。
重要二枚貝資源モニタリング事業Ⅲ(ハマグリ生息状況調査)	173	試験調査事業	資源状況の悪化が危惧されている本県ハマグリの生息状況を緑川河口域と菊池川河口域で調査した。
重要二枚貝資源モニタリング事業Ⅳ(球磨川河口域におけるハマグリ浮遊幼生および着底後の生息状況調査)	178	試験調査事業	球磨川河口域において、ハマグリの浮遊幼生調査および着底後の生息状況調査を実施した。
有害プランクトン抑制技術開発事業	180	有害プランクトン抑制技術開発事業	クルマエビ養殖場で、養殖管理の一環として培養されている珪藻等を海域に放出し増殖させることで、有害赤潮プランクトンの増殖を抑制する技術開発試験を行った。
有明海・八代海再生事業Ⅳ(有明海特産魚介類生息環境調査：アサリ資源重点保護対策)	185	令達	漁業者が主体となり、アサリ母貝場として保護対策を講じた保護区について、アサリの生息密度や漁場環境の調査を実施した。

事業名	頁	予算名	要 旨
有明海・八代海再生事業 Ⅴ（有明海特産魚介類生息環境調査：ハマグリ資源重点保護対策）	190	令達	漁業者が主体となり、ハマグリ母貝場として保護対策を講じた保護区について、ハマグリの生息密度や漁場環境の調査を実施した。
有明海・八代海再生事業 Ⅵ（有明海漁業振興技術開発事業：タイラギ人工種苗中間育成試験および有明海特産魚介類生息環境調査：タイラギ母貝団地造成試験）	194	令達	人工的に生産されたタイラギ稚貝の中間育成および産卵用母貝場造成の技術開発を行った。当センター内の陸上水槽および実験プール内囲い網で中間育成を行い、適宜、赤瀬漁港内に設置した母貝場に移送して垂下飼育し、性成熟の状況を把握した。
有明海・八代海再生事業 Ⅶ（有明海漁業振興技術開発事業：波浪によるアサリ散逸防止技術開発）	203	令達	冬季のアサリ減耗要因のひとつと考えられる波浪を軽減するための施設をアサリ漁場内に設置し、稚貝の減耗や漁場の変化の実態や施設の設置による保護効果を確認するための試験を実施した。
県産アサリ資源回復事業 （特別回復区域におけるアサリ増殖技術開発）	214	令達	「熊本県産あさりを守り育てる条例」の施行に伴い、あさり資源特別回復区域に指定された玉名市滑石地先および玉名市大浜地先において、アサリ稚貝を漁獲サイズまで育成する実証試験を実施した。

食品科学研究部

水産物安全確保対策事業 （エライザ法による麻痹性貝毒定期モニタリング調査）	221	試験調査事業	二枚貝類における麻痹性貝毒による食中毒を未然に防止するため、ELISA法および公定法によるモニタリング調査を実施した。
水産物付加価値向上事業 Ⅰ（オープンラボを活用した加工指導）	224	試験調査事業	本県水産物の付加価値を向上させるため、開放型実験施設（オープンラボ）を活用し、水産加工品の開発、改良および衛生管理等の技術指導を実施した。
水産物付加価値向上事業 Ⅱ（県産魚介類の旬調査）	225	試験調査事業	本県海域（有明海・八代海）で漁獲されるアサリの旬を特定するため、肥満度およびグリコーゲン量の推移を調査した。
海藻類総合対策事業Ⅰ （ヒトエグサ養殖技術安定化試験）	227	試験調査事業	種場のない漁場でも生産可能なヒトエグサ人工採苗技術を確立するため、接合子板作製およびその効率化、人工採苗技術の安定化、高水温耐性株作出試験を実施した。
海藻類総合対策事業Ⅱ （ワカメ養殖技術指導）	230	試験調査事業	ワカメ養殖の技術向上および安定生産のため、漁業者に対し、養殖技術指導およびフリー配偶体による採苗指導を行った。
海藻類総合対策事業Ⅲ （トサカノリ保存試験）	232	試験調査事業	トサカノリについて、養殖用の種苗として越冬させるため、2産地由来の葉体を用い、塩分および温度を変化させた保存試験を実施した。
海藻類総合対策事業Ⅳ （天草西海藻場モニタリング調査）	234	試験調査事業	天草西海に位置する天草郡苓北町地先の富岡保護水面において、藻類の育成状況を把握するためのモニタリングを実施した。

事業名	頁	予算名	要 旨
海藻類総合対策事業Ⅴ (軍ヶ浦地先藻場造成効果調査)	236	試験調査事業	天草市軍ヶ浦地先において、漁業者等が取り組んでいる藻場回復試験の効果把握のためのモニタリングを実施した。
水産研究イノベーション加速化事業Ⅱ(水産物差別化試験 ワカメ優良系統選抜試験)	240	水産研究イノベーション加速化事業	本県海域において葉やメカブの生長の良い優良な系統を選抜することを目的とし、複数の産地のワカメから作製したフリー雌雄配偶体を用いて産地間の交配を行い、作出した各系統の種苗性を評価した。